

男性を対象とするDVに関する実態調査の結果

調査実施団体:

一般社団法人 白鳥の森（問い合わせ先:088-661-4037）

実施の目的:

近年の男性DV被害者からの相談が増加している状況を鑑み、男性の被害当事者に対しアンケートを実施し、被害状況を検証することで今後の男性DV被害者支援の強化・拡充につなげる。調査結果については徳島県に報告する。

調査実施期間:

令和5年10月～令和5年12月

調査対象:

- ・ これまでパートナー(配偶者や内縁関係、交際関係など、親密な関係性であった者)からなんらかの被害を受けたことのある性自認が男性の成人
- ・ 白鳥の森で支援を受けている、または支援が終了した人

実施方法:

アンケート用紙を手渡しし、対象者が記入後郵送または手渡しにて提出

質問形式:

選択形式および自由記述形式

調査対象者数:

20名

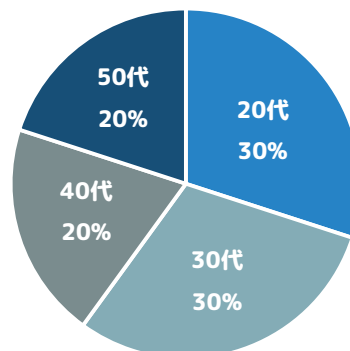
有効回答数:

20

1 あなた自身について教えてください

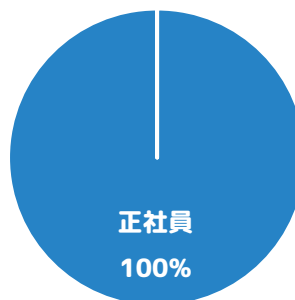
(1) 年代

・10代	0人
・20代	6人
・30代	6人
・40代	4人
・50代	4人
・60代	0人
・70代以上	0人



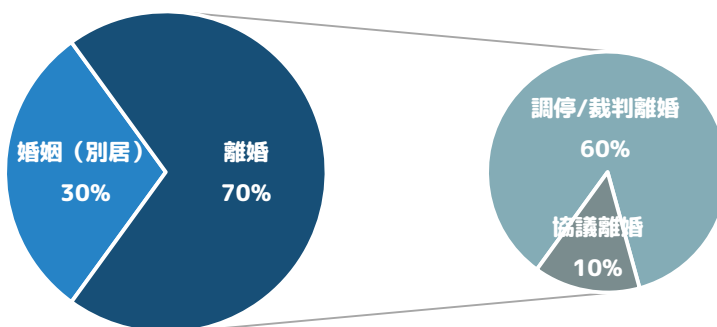
(2) 就労状況

・正社員	20人
・契約社員/派遣	0人
・パート	0人
・自営業	0人
・福祉的就労	0人
・無職	0人
・その他	0人



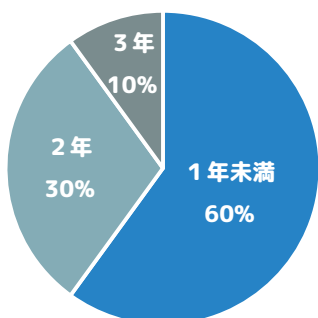
(3) 婚姻状況

・婚姻中	6人	・離婚	14人
(内訳) ・同居	0人	(内訳) ・協議	2人
・別居	6人	・調停/裁判	12人

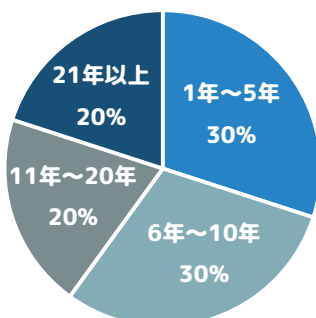


(4) 相手方との関わり

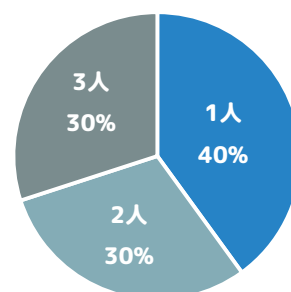
交際期間 ____ 年



婚姻期間 ____ 年



子ども ____ 人



(5) 係争の有無 (調停・裁判等)

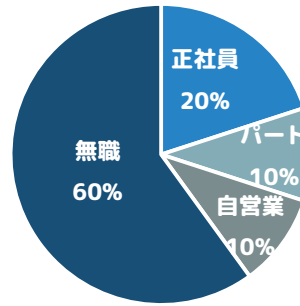
・有	16人
・無	4人



2 相手方について教えてください（婚姻中について）

(1) 就労状況

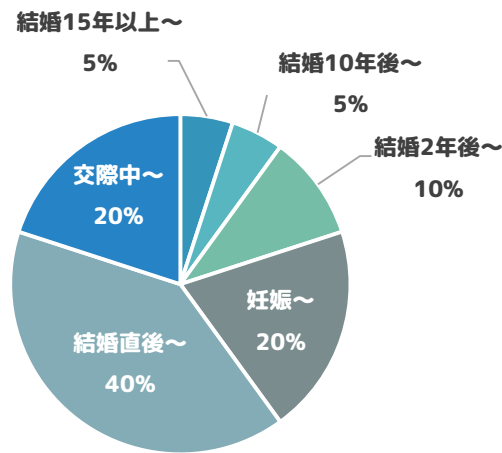
・正社員	4人
・契約社員/派遣	0人
・パート	2人
・自営業	2人
・福祉的就労	0人
・無職	12人
・その他	0人



3 あなたが受けたDV被害の状況を教えてください

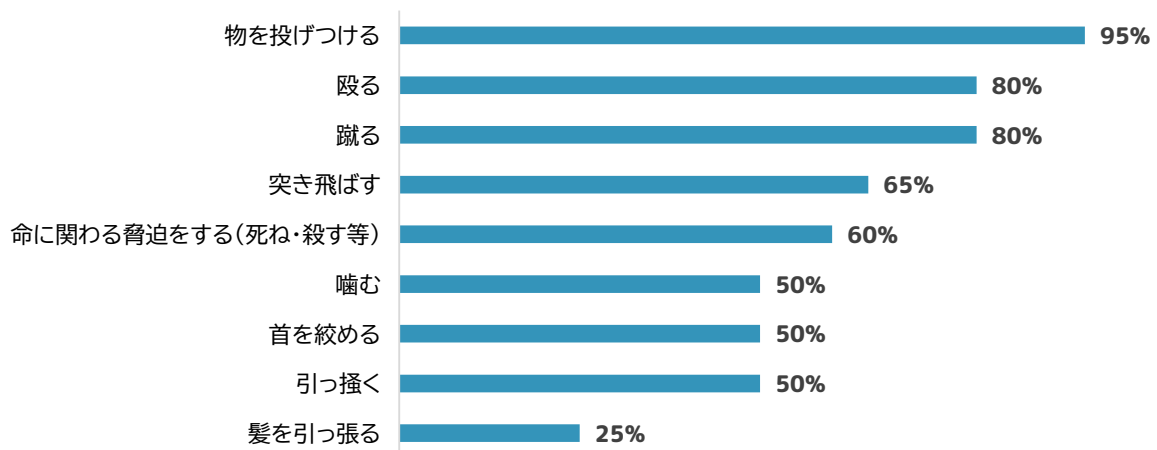
(1) いつ頃からDVを受けていましたか

・交際中～	4人
・結婚直後～	8人
・妊娠～	4人
・結婚2年後～	2人
・結婚10年後～	1人
・結婚15年以上～	1人



(2) これまでにどのようなDVを受けましたか（複数回答可）

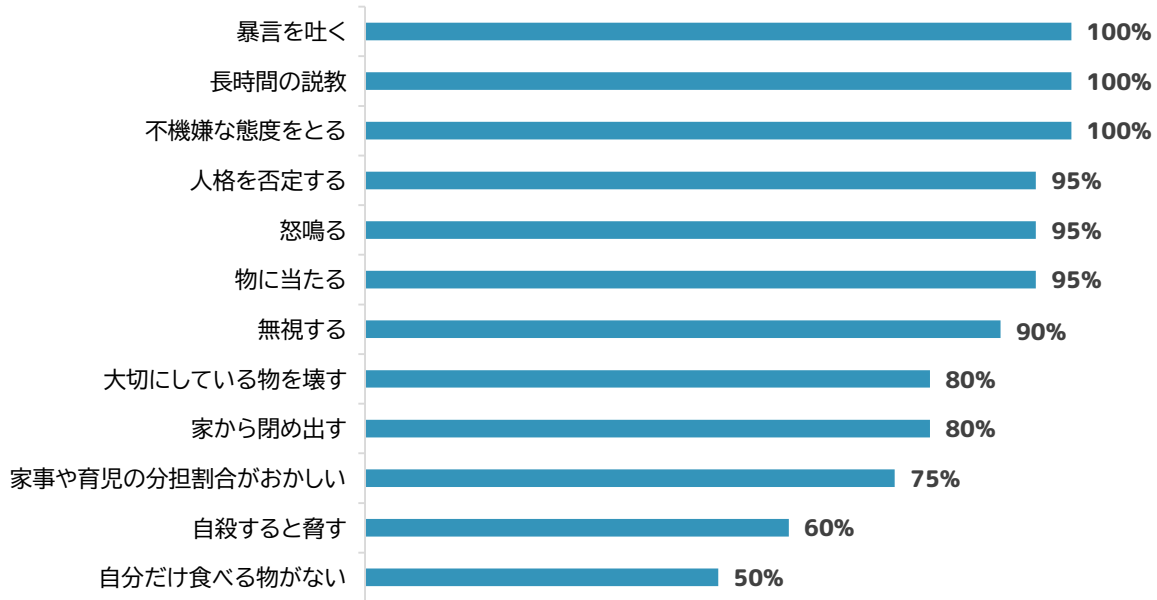
a. 身体的暴力



その他

- | | | |
|--------|--------------|-------------|
| ・叩く | ・自分の連れ子に虐待する | ・腐った物を食べさせる |
| ・揺さぶる | ・菜箸で刺す | ・食べ物に下剤を入れる |
| ・刃物で脅す | ・包丁を突きつける | |

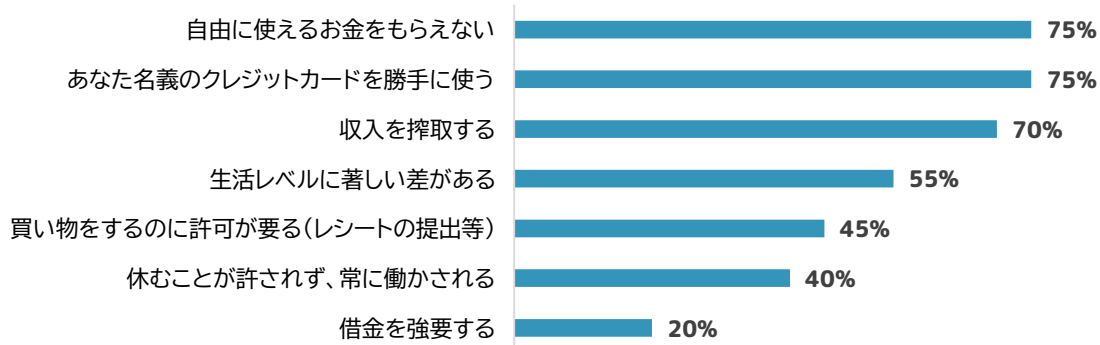
b. 精神的暴力



その他

- ・ゴキブリやムカデの死骸を寝室や玄関に置かれる
- ・眠らせてもらえない
- ・相手方の身内に連絡され束になって責められる
- ・離婚届を取りに行かされる
- ・子どもが私を嫌って悪口を言っていると嘘をつかれる

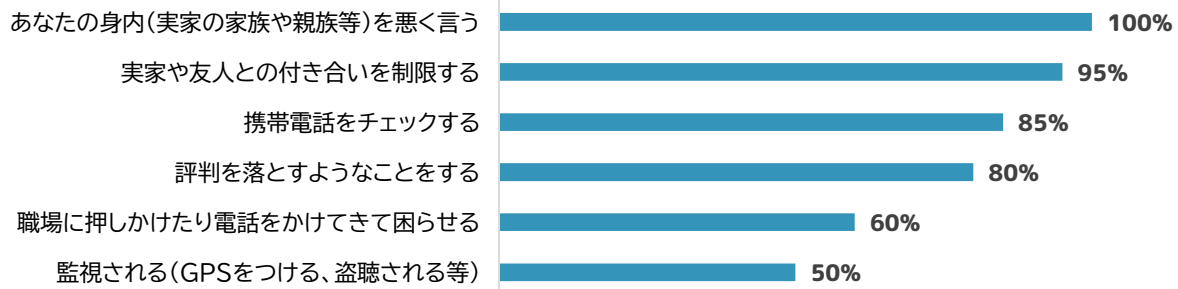
c. 経済的暴力



その他

- ・収入をすべて没収される
- ・借金の肩代わりをさせられる
- ・通帳や印鑑を隠される
- ・妻の言うことを聞かないと支払い関係をまったくしてもらえない
- ・勝手に高額な買い物をして妻の身内にプレゼントする
- ・相談なしに高額な電化製品を購入して私に請求書を渡してくる

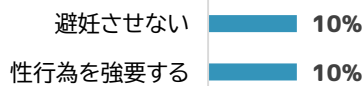
d. 社会的暴力



その他

- ・友人や同僚の連絡先を消す

e. 性的暴力



(3) 面前DVはありましたか (※「面前DV」とは、親が子どもの前でDVを見せる心理的虐待のこと) (複数回答可)



その他

- ・子どもに物を投げて怪我をさせる
- ・子どもの前で説教をして一緒に私を責める
- ・子どもは私を責めると妻からご褒美をもらえる
- ・娘は妻と共謀して人格否定してくる

(4) DVを受けていると気づいたのはどのようなときでしたか

- ・DVとは認識しておらず、窓口相談して気づいた。
- ・白鳥の森に相談して気づいた。
- ・白鳥の森に行ったタイミングで。それまでは自覚がなかった。
- ・TVやネットで自分と同じような状況の人をDVと言っていたので気づいた。
- ・日々、常に感じていた。
- ・仕事をして一円でも多く家に入れないと、一層自分の居場所がなかった。
- ・相談した人にDVだと指摘され、DVの無い世界もあると言われたとき。
- ・殴る蹴るの暴力を受けて病院に行ったときに、医師から指摘されて気づいた。
- ・離婚したいと思うようになり、弁護士に相談したときにDVだと言われた。
- ・同僚に指摘されて。
- ・妻が部屋に閉じこもる、機嫌が悪い、無視される、子どもを放置していたときに気づいた。

4 DV被害を受けていたときの状況や、当時のあなたのお気持ちを教えてください

(1) 結婚(事実婚含む)の前後で、相手方のあなたへの態度に変化はありましたか

・はい 14人

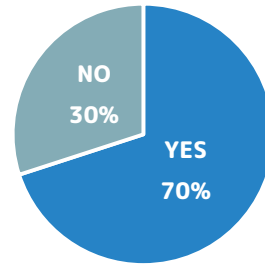
↳ いつ、どのように変化したと感じますか

いつ

- ・結婚後、間もなく
- ・結婚直後から
- ・妻が妊娠した頃から
- ・私に経済力があるとわかったときから

どのように

- ・私の連れ子を虐待するようになった
- ・すべて妻の思い通りにしなくてはいけなくなる
- ・束縛や暴力が始まった
- ・なんでも上から言われたりバカにされるようになった
- ・こちらの意見や考えはまったく聞いてくれなくなった
- ・相手方の身内と共に無視が始まった
- ・妻は家事をせず、すべて自分にしろと強要したり怒鳴ったりするようになった
- ・妻が意図しないことが起こると凄く威圧的になる
- ・暴言だけだったのが暴力に変わっていった

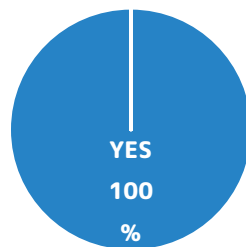


・いいえ 6人

(2) DVを受けていたとき、どのような心境でしたか

a. 命の危険を感じていましたか (心境について、複数回答可)

・はい 20人



その他

相手方の口癖が「死にたい」「自殺するぞ」だった

・いいえ 0人

b. 相手方からの暴力に対し、自分も暴力で対抗しようと思ったことはありますか

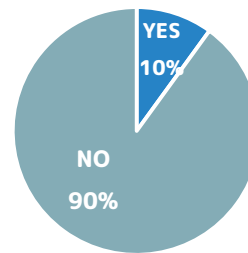
・はい 2人

↳ 行動に移しましたか

・はい 2人

↳ どういった暴力(方法)で対抗しましたか

- ・相手が迫ってきたり追いかけてくるので押し返した
- ・言葉でなだめた



・いいえ 18人

↳ 暴力で対抗しようと思わなかった理由を教えてください

- ・自分が本気を出せば大喧嘩になると思い「自分だけが辛抱したらよい」と自分に言い聞かせていた
- ・何をされるか怖くてできなかった
- ・子どもにあたるのが可哀想でできなかった
- ・力では勝ってしまうので
- ・今以上に言動が厳しくなるのが怖かった
- ・相手を怒らせる自分が悪いのでは?と思っていたから
- ・何に機嫌を損ねているのかがわからないから
- ・さらにエスカレートするのを恐れた
- ・報復が怖かった
- ・子どもを虐待されてしまうと思ったから

(3) DVを受けていたとき、どのようなお困りごとがありましたか

家庭

- ・孤立、自分の部屋から一切出られない、食事も一切無し、トイレに行くのも音を立てられない
- ・仕事をしながら家事や子育て全般をして休む暇が無かった
- ・相手の顔色をうかがう毎日で、気が休まる日がなかった
- ・常にどんなことで怒りだすかわからない緊張感の中で生活していた
- ・自宅に戻っても居場所がない
- ・家庭内のイベント事がある度に妻が感情的になることが多く、円滑に進むことがなかった
- ・家庭がうまくいっていないのに、外ではうまくいっている感を装うのが辛かった
- ・いつも責められるので、何が正しいのかわからなくなっていた
- ・子どもの世話をしない、鍵をかけて閉め出された
- ・相手を怒らせないように気を配ることに疲れ果てていた。
- ・周りに家庭内のことがバレないように装った
- ・ご飯が無い、台所を使わせてくれないので作れない

仕事

- ・仕事をしているときに唯一気持ちが安らぐが、それが空虚だった
- ・すべてが空回り、周りの人が離れていった
- ・妻から「お前は仕事ができない」と言われて自信がなかった
- ・睡眠不足で疲れて仕事に集中できない
- ・妻から職場に頻繁に電話がくるので、同僚に不仲であることを気づかれた
- ・仕事中でもDVのことが頭をよぎる
- ・ゆっくり寝ることが出来ず、慢性疲労で仕事に集中できない
- ・仕事中に妻から電話がかかってきて、電話を切らせてくれない

身内・親戚付き合い

- ・自分の実家に帰るのには妻の許可が必要だった
- ・自分の身内をバカにされて辛かった
- ・実家に行くことができない
- ・親との付き合いを制限された
- ・親や親戚をバカにして、付き合いえないように仕向けられた
- ・身内の集まりがあっても早く帰らないと、といつも気を遣っていた
- ・身内が家に来ることが許されなかった
- ・実家に帰ることも親に会うことも妻の許可が必要で、疎遠になった
- ・身内をバカにしたり悪口を言われ続けた
- ・自分の身内とは一切付き合いが出来なかった

友人や職場の交友関係

- ・妻がお金をくれないので付き合いができなかった
- ・相談する気もなく、ただ孤立していた
- ・友人と会うことや電話もできないが、妻に説明するのも面倒になり、疎遠になった
- ・遊びの誘いがあっても行けなくて「また今度…」とごまかしていた
- ・かなり制限されていた
- ・友人との連絡を制限された
- ・携帯の友だちをすべて削除されて連絡ができなくなった
- ・まったくできなかった
- ・友人と会えず、遊ぶこともできなくなった
- ・友人との約束を入れても直前に妻の機嫌が悪くなり、何度もドタキャンして段々と疎遠になった

地域や子どもの学校行事

- ・怒り出すと子どもの行事にも行かないと言い出す
- ・自分だけが参加していた
- ・運動会に参加させてもらえない
- ・子どもたちの学校行事を知らされず、入学式・卒業式も行けなかった
- ・すべて妻が不参加で、自分が出席した
- ・行きたくても教えてくれず行けなかった
- ・妻が許可してくれた行事のみ参加した

余暇の時間

- ・妻が行きたい所だけ家族で出掛けた
- ・ただ深呼吸
- ・一心不乱に仕事をして、妻の借金を返済していた
- ・家で休んでいると妻に怒られるので、外で時間を潰した
- ・家で過ごせる場所がなく、図書館通い
- ・好きなことができない
- ・友人から遊びの誘いがあっても妻になかなか言い出せない
- ・一人で安らげる場所がなかった
- ・一人でドライブしていた
- ・心が休まる時間が無かった

医療

- ・妻からの暴力で怪我をして受診しても、DVを隠した
- ・お金が無く病院に行けなかった
- ・精神的に落ちて入院したかったが、身内の同意が必要なため諦めた
- ・病院に行くと言うと「そんな暇あるか？」と言われて行けなかった
- ・「自分だけ病人面するな」と言われた
- ・「病院なんて贅沢だ」と言われた
- ・妻に責められるので隠れて通っていた
- ・ずっと心療内科に通っていた
- ・鬱病で通院していたが、手持ちのお金が無くカードローンを使っていた
- ・お金をくれないので熱が出たり体調が悪くても病院に行けなかった

(4) 加害者以外の家族に対し、どのように考えていましたか (複数回答可)

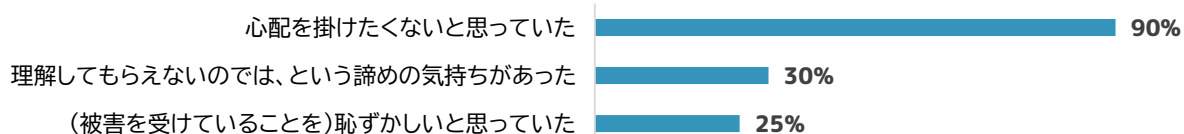
a. 子



その他

- ・妻に自分の悪口を言われていたので、嫌われていると思っていた
- ・私でなく、妻に子どもが必要と思った
- ・子どものためにとまって諦めた
- ・母親側につくのは仕方ないと思った

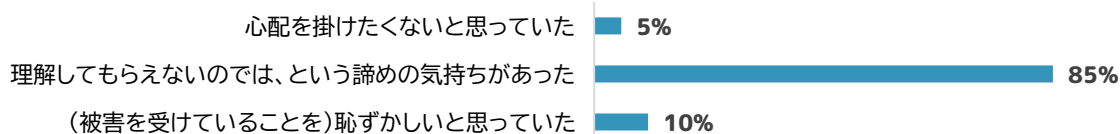
b. 親



その他

- ・自分の母にも妻が厳しい態度を取っていたため、理解してくれていた

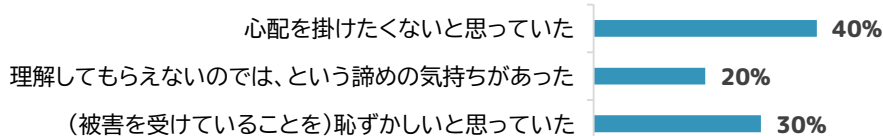
c. 義理の親



その他

- ・妻の味方をしたので言えなくなった
- ・義母に相談したが、取り合ってもらえなかった

d. その他親族



5 「相談」についてお聞きします

(1) 誰かに相談しましたか

・はい 10人

↳ それは誰ですか

- ・弁護士
- ・職場の同僚
- ・友人

どのような対応を受けましたか

- ・親切に聞いてくれた
- ・同情してくれた
- ・話を聞いてもらった
- ・聞いてくれた

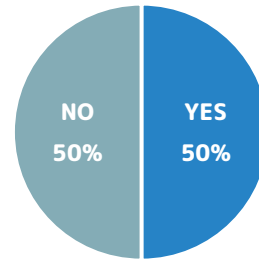
相談してどのような心境になりましたか

- ・気持ちが少し楽になった、嬉しかった
- ・この状況が普通ではないのだと気づいた
- ・嬉しかった
- ・離婚を考えるようになった
- ・変わらなかった

・いいえ 10人

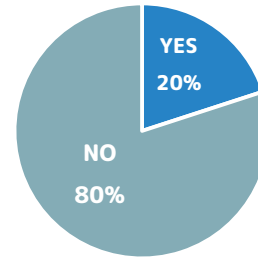
↳ それはなぜですか

- ・DVと認識していなかった
- ・相談できる場所を知らなかった
- ・自分が悪いと思っていたから
- ・自分が我慢すれば良いと思っていた
- ・DVの自覚が無かった



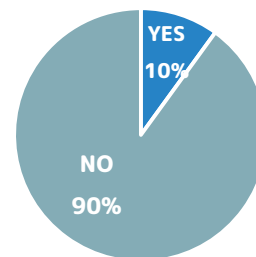
(2) 相談しようと思ってから、すぐに行動に移せましたか

- ・はい 4人
- ・いいえ 16人
 - └ 相談するまでどれぐらいの時間がかかりましたか
 - ・2～3ヶ月
 - ・半年
 - ・1年
 - ・5年
 - ・6年
 - ・10年
 - ・数年かかった
 - └ 相談できなかった理由を教えてください
 - ・相談したことが相手方にバレる恐怖心
 - ・これ以上行動に移せる気力が残っていなかった
 - ・恥ずかしかった
 - ・自分が悪いと思わされていた
 - ・理解してくれないと思っていた
 - ・相手が変わってくれるのではと思った



(3) 行政に配偶者暴力相談支援センターやDV被害者支援窓口があるのはご存知でしたか

- ・はい 2人
 - └ どこで知りましたか
 - ・警察に電話したとき
 - ・インターネットで検索した
 - └ 相談しましたか
 - ・はい 2人
 - └ どこに相談しましたか
 - ・ときわプラザ
 - ・国の電話相談
 - └ どのような対応でしたか
 - ・寄り添って親身に話を聞いてくれた
 - ・話をよく聞いてくれた
 - └ 対応に満足しましたか
 - ・はい 2人
 - └ どのような点で満足しましたか
 - ・気持ちを理解してもらえた
 - ・進むべき道を指南してくれた



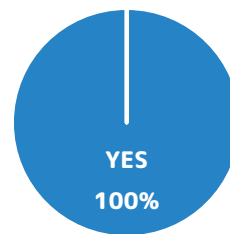
- ・いいえ 18人

(4) 男性が、自分が被害を受けているDVについて相談しにくい現状はありますか

・はい 20人

↳ なぜ相談しにくいと思いますか

- ・世間の目が気になる
- ・男性がDV被害に遭うなんて理解はされないと思う
- ・DVは女性だけが被害に遭う問題だとずっと思っていた
- ・DVは明らかな暴力に限定され、主に男性から女性へのものと認識しているから
- ・様々な所に掲示されているポスターなども、女性や子どもが被害者であることを連想させるから
- ・担当課の名称が「こども女性相談課」のため、相談しづらかった
- ・恥ずかしい
- ・今の社会が「暴力＝男が女にするもの」という風潮があるから
- ・「女性相談窓口」「女性支援センター」になっているから



(5) どうすれば男性がDV被害について相談しやすい環境になると思いますか

- ・それぞれの体験をいろいろな形で多くの人に知ってもらうために、中立な機関からの発信が必要
- ・「男性もDV被害に遭う」キャンペーンを打てば良いと思う
- ・女性相談窓口と同様の「男性相談窓口」をつくる
- ・男性の相談員がいること
- ・夜間でも相談できる場所
- ・社会の偏見をなくす
- ・男性でも相談できる窓口の認知度を高めたらいい、啓発活動の充実
- ・メールやLINEを使った文章での相談ができること
- ・DVが男女関係なく被害に遭うことを周知し、平日以外も相談できる場所を設ける

(6) 相談機関にどのような対応を望みますか

- ・DV被害は繰り返すので、相談を受けたら被害者への聴き取りや状況確認などは何度か繰り返す
- ・味方になってくれる存在
- ・DV加害者から離れる方法や手段の教示を望む
- ・男性もウェルカム的な表記を
- ・仕事を休めないの、平日の夜でも相談できたらいいと思う
- ・男女平等に相談にのってもらえる
- ・相談窓口の名称を、女性に限らないものに変えてほしい
- ・野口さんたちの対応が良かった。助けられました
- ・男性でも相談しやすい雰囲気をつくってほしい
- ・男性は被害に遭わないだろうという偏見を捨ててほしい
- ・DVの知識のある人が少ないので相談にならない

(7) どのような支援があると良いと思いますか

- ・「衣食住」のうち、特に「食」と「住」
- ・同行支援をしてもらって、相手と会わずに済んだことが良かった
- ・男性でも利用できるシェルターがあればいいと思う

(8) 下記の機関について、どのような印象をお持ちですか（関わった機関についてのみご回答ください）

a. 裁判所（裁判官、調停委員、調査官、書記官など関係者すべて）

- ・調停委員は公平な判断をしてくれていると思う
- ・こちらが証拠を残していなくても、受け入れ、信用していただけるありがたい存在
- ・よくわからない。ドライな印象
- ・公平に判断してくれた
- ・調停委員はまったく中立ではなかった
- ・がっかりした。真面目な人が辛い思いをする
- ・担当してくれた裁判官が話をきちんと聞いてくれ、公平な判断をしてくれた
- ・調停委員や調査官に傷つくことを言われ、不信感を抱いた

b. 警察署

- ・こちらが証拠を残していなくても、親身になって話を聞いてくれたのが意外だった
- ・一人で相談に行ったときは誠実な対応をしてもらえなかったが、弁護士が入ると誠実な対応に変わった
- ・偏見のかたまり
- ・身体的な暴力以外は対応できないので、また殴られたら連絡してくださいと冷たい対応をされた
- ・DVに対する知識がない人がほとんどという印象

c. 法律事務所

- ・当然知識も豊富で心強かった
- ・弁護士先生の「通知書」にあれほど力があるとは知らなかった
- ・冷静で良い先生だった
- ・相手方との係争が一人では不安だったので、心強い存在だった
- ・男性社会
- ・がっかりした。どちらの味方かわからない
- ・離婚成立まで、とても親身になって協力してくれた
- ・冷静に対応してくれて、法律面での解決においては頼りになった
- ・感情的なところを汲み取ってもらえない辛さがあった

d. 相談機関

- ・白鳥の森に関しては悪い印象はなく、心強かった。そうではない所も多いのでは
- ・白鳥の森に相談して弁護士に委任できたことで、問題解決に一気に進んだ
- ・十分な支援をしていただいている。話を聞いてくれたことが最も心の支えとなった
- ・相談して良かった。命を助けられた
- ・男性に冷たい
- ・面前DVを見相に相談したが、丸く収めようとしたり、私の同意なく加害者に連絡して事態を悪化させた

6 子どもに関することについて教えてください

(1) 面会交流をしていますか

・はい 2人

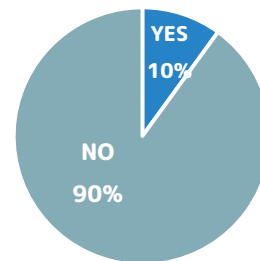
↳ 面会交流は順調だと感じていますか

↳ ・はい 2人

・いいえ 18人

↳ 面会交流をしていない理由があれば教えてください

- ・現在調停中で、面会交流についての取り決めができていないため
- ・遠距離。子どもたちも会いたくないのでは
- ・元妻が会わせてくれない
- ・相手方が拒否しているから
- ・妻に拒否されているので諦めている



(2) 共同親権の導入についてご意見があればお聞かせください

- ・被害者は、加害者とは二度と関わりたくないと思っているので、共同親権は不可能だと思う
- ・円満離婚なら成立するかも
- ・DVの夫婦は対等でないので話し合いができない。親権があっても相手に従うしかないのでは意味がない
- ・婚姻中も自分の意見が言えなかったため、共同親権になったとしても同じだと思う
- ・DVのない、対等な夫婦関係しか適応しないのでは
- ・DVでの離婚の場合は共同で親権を持つことは不可能。子どもに関わりたいが、妻と関わることへの恐怖が強い。共同親権には反対

7 あなたが今感じておられることについて教えてください

(1) 男性のDV被害者にメッセージをお願いします

- ・恥ずかしがらずに一歩踏み出し、誰かに相談してほしい。理解してくれる人はいる
- ・まずは適切な機関に相談されることをお勧めします
- ・周りに相談してほしい
- ・一人で悩まず相談してほしい
- ・我慢しても解決しないので、とにかく逃げることを相談すること
- ・生きてさえいれば、また良いこともたくさんあります
- ・毎日が辛かったり、機嫌をとりながらの気を遣う生活なら、少し相談だけでもしてほしい
- ・人として、嫌なことは嫌だと言う権利がある。わかってくれる人は必ずいるので、諦めないでほしい

(2) 社会に向けてメッセージをお願いします

- ・DVに性別は関係ないので、男性被害者にも配慮は必要だと思う
- ・性別に関わらずDV被害者は相当数いると思う。勇気がない、加害者からの報復を恐れ、辛抱している人も多いと思う。行政の力で被害者を保護すべきだと思う。世の中から、自分のような苦しみを味わう人が一人でも減っていくように、幸せな日々を送れるように切に願います。
- ・このような活動に助けられて良かったです
- ・被害は性別に関係なく起こることを理解してほしい
- ・男性も被害に遭うことを理解し、相談しやすい環境をつくってほしい
- ・被害者は女性に限らないので、DV支援のなかの男性差別をなくしてほしい
- ・ほとんどの男性は自分がDVに遭っていることに気づかない。社会が連携して大切な命を守れるように願います。過去を思い出すだけでも手が震えて字が書けません。
- ・「男だから」「男なら」という考えをなくし、平等に考えてほしい
- ・男性、女性問わず、DV被害が起こることを理解してほしい
- ・DVの相談窓口は増えているようだが、本当に支援ができていないか、形だけではないか考えてほしい
- ・一般的な認知だけではなく、行政や各機関の知識や対応の仕方も問題が残っていると思う

お疲れさまでした。アンケートは以上です。ご協力に心から感謝いたします。

皆さまからいただいた調査結果を、今後のDV被害者支援(特に男性被害者支援)に役立てて参ります。

お気づきの点やご心配なことがあれば、いつでもお気軽に『白鳥の森』までお問い合わせください。